

[令和6年度事務事業]

Ⅱ．事業目的の達成状況							
事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
	朝食を毎日食べる児童の割合（小6）	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	82	81		
			達成率	82%	81%		
当該指標を選定した理由	第3期末未をつくる堺教育プランの指標として同指標を設定しているため。						
目標値の設定根拠・算出方法	「全国学力・学習状況調査」本市結果						
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	食通信の発行（年間11回）	回	目標値	11	11	11	
			実績値	11	11		
			達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由	毎月定期的に食に関する内容を小学生の全保護者と全生徒に配付している。また、ホームページに掲載し、食育の重要性を啓発しているため。						
目標値の設定根拠・算出方法	学校給食献立表の配付と合わせて月 1 回（夏休み期間中である8月は9月との合併号）の配付とする。						

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	食育推進事業	事業番号	038-087
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	92	221	148	118	347
	国支出金	0	0	0	0	155
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	92	221	148	118	192
14	人件費（b）	3,280	3,240	4,050	4,050	4,200
15	年間経費（c）=(a)+(b)	3,372	3,461	4,198	4,168	4,547

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	決算				R6	決算		
16	普通旅費	R7	予算	194	100	研修会等参加負担金	R7	予算	5	5
		R6	決算	22	22		R6	決算		
	謝礼金	R7	予算	68	34		R7	予算		
		R6	決算	0	0		R6	決算		
	消耗品費	R7	予算	30	30		R7	予算		
		R6	決算	0	0		R6	決算		
	会場等借上料	R7	予算	27	0		R7	予算		
		R6	決算	96	96		R6	決算		
	印刷製本費	R7	予算	23	23		R7	予算		
		R6	決算	0	0		R6	決算		
		R7	予算				R7	予算		
		R6	決算				R6	決算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① 堺市立幼・小・中・支援学校の幼児児童生徒数（毎年度5月1日現在）	人	61,248	59,634
	② 上記①にかかる年間経費	千円	3,461	4,168
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	57	70
	算出についての説明等	-		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・朝食の摂取状況（割合）は、令和4年度と比較しても横ばい傾向にあるといえる。食通信、食育フェア等を活用したより効果的な情報発信を図ってきた。 ・子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくための基礎となる「食」にかかる資質・能力を育む学校での食育の推進を図り、引き続き学校・家庭・地域が連携して朝食の摂取状況（割合）が100%となるなど児童生徒の食環境の改善に努める必要がある。 ・単位当たり経費は若干増加したものの献立のデータを学校のテレビ画面に映す方法を活用し、印刷物の削減に努めた。 ・万博学校給食の実施、食育フェア開催や、小学校の全保護者・児童を対象とした食通信の発行を実施し、食育について広く情報発信できたため、費用対効果は得られたといえる。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	堺市基本計画2025において、子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進（重点戦略3施策(2)）をあげているが、食育は、生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるべきものとして食育基本法において位置づけられている。児童生徒が食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることを目的とした、学校における食育を推進することは、当該指標における目標達成のための基礎を固めることに寄与するものである。
----	--